

行政経営評価（施策評価）

コミュニティの視点 (生活と空間)	7. 市 域	「環境共生」と「基盤整備」に関する分野を【市域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	---------------	---

施策分野	目指すべき姿
7-① 資源循環	市民意識の高揚によりごみの減量化が進み、環境に負荷をかけない資源循環型のまち
7-② 環境保全	市民、事業者、行政が一体となり住みやすい生活環境が保全され、市民が快適で健康な生活が送れるまち
7-③ 都市づくり	既存の都市基盤を活かしつつ、まちの賑わいを育み、人と自然にやさしいコンパクトなまち
7-④ 道路整備	安全・安心で快適な生活ができるよう、市道や側溝の計画的な整備を進めるとともに、銚子連絡道路の早期完成や国道356号線・126号線など広域幹線道路の整備を促進し、交通アクセスが向上されたまち
7-⑤ 公共交通	身近で利用しやすい公共交通網が維持され、日常生活での移動が不自由なくできるまち
7-⑥ 上水道	水道施設の維持管理や更新整備が持続的に行われ、安全・安心で良質な水道水が安定的に供給される快適なまち
7-⑦ 下水道	下水道施設の計画的な改築更新や維持管理が行われることにより、公共用水域の水質保全や生活環境が改善し、快適な生活が送れるまち

■まちづくりの視点

市民の視点	自分なりの関心に応じて地域活動に参加できる
行政の視点	市民の生活環境の改善に取り組む
協働の視点	立場を超えた交流・議論・実践を充実させていく

■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	3年後 (2021年度目標値)	現状 (最新)	5年後 (2023年度目標値)	10年後 (2028年度目標値)
① 人口1人当たりごみ排出量 (資源循環)	1,113g/人・日 (2016年度)	1,105g/人・日	1,174g/人・日 (2022年度)	1,100g/人・日	1,088g/人・日
② 公共施設における温室効果ガス排出量 (環境保全)	8,857t-CO2 (2013年度)	8,300t-CO2	5,110t-CO2 (2022年度)	8,150t-CO2	5,950t-CO2
③ 人口1人当たり都市公園面積 (都市づくり)	3.73㎡ (2018年4月1日)	3.94㎡	4.17㎡ (2023年4月1日)	4.11㎡	4.58㎡
④ 道路改良率 (道路整備)	50.91% (2018年4月1日)	50.91%	51.12% (2023年4月1日)	50.91%	51.41%
⑤ JR銚子駅1日平均乗車人員 (公共交通)	3,203人 (2017年度)	3,200人	2,573人 (2022年度)	3,200人	3,200人
⑥ 銚子電鉄1日平均乗車人員 (公共交通)	1,046人 (2016年度)	1,000人	860人 (2021年度)	1,000人	1,000人
⑦ 水洗化率 (下水道)	78.0% (2016年度末)	80.0%	80.95% (2022年度末)	81.0%	84.0%

成果指標と現状の分析

資源循環の分野では、人口1人当たりごみ排出量が目標値を超えてしまっている。コロナ禍での社会経済活動が3年目を迎え、日常の活動が再開されてきたことが影響していると考えられる。令和3年度から令和5年度までの継続事業として、国の循環型社会形成推進交付金を活用し、旧銚子市清掃センターを解体する。

環境保全の分野では、公共施設における温室効果ガス排出量が目標値を大きく下回り改善している。2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指すゼロカーボンシティの実現に向け、銚子市ゼロカーボンビジョンを策定した。

都市づくり及び道路整備の分野では、指標の値は順調に推移している。

公共交通の分野では、指標の値が目標値を下回る状況が続いている。前年度に引き続き、交通事業者に対し運行継続のための支援金を支給したものの、依然として厳しい経営状況が続いている。人口減少と自動車の普及による利用減少が主な要因であり、令和5年度には、利用度の高い持続可能な交通体系の実現を目指し、地域公共交通計画を策定する。

下水道の分野では、指標の値は順調に推移しているものの、市では新たな面整備を行わない方針であり、今後は、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推進することで、公共水域の水質保全及び公衆衛生環境の向上に取り組んでいく。

行政経営評価シート

事業ID	10402020129
------	-------------

事務事業名	ごみ収集経費	所管	生活環境課
-------	--------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-1 ごみの減量化・資源ごみ分別の徹底
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画)
	目的	市内で発生する一般廃棄物の適正な処理及び地域の清潔を保持することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、もって健康で快適な市民生活を確保する。
	対象	市内の一般廃棄物
事業内容	市内ごみステーションに排出された家庭ごみやごみゼロなどの地域清掃で排出されたごみを収集し、ごみ処理施設に運搬する。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	209,763	205,722				141,087	64,635

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			目標値	16,710
ステーションごみ収集量	t	実績値	13,267	14,422
	%	達成率	79.4	103.4
資源ごみ収集量	t	目標値	2,340	2,790
	%	実績値	2,086	1,908
		達成率	89.1	68.4
事業成果指標項目				
ステーションごみの収集量1トン当たり収集費用 (ステーションごみの収集量1トン当たり収集費用)	円	目標値	10,417	11,304
		実績値	13,120	11,588
	%	達成率	125.9	102.6
資源ごみ収集比率 (ごみステーションから収集したごみ量のうち資源ごみ量の占める割合)	%	目標値	14	20
		実績値	16	13
	%	達成率	112.2	66.4
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
一般廃棄物を適正に処理し、地域の清潔な環境を保持している。				

事業の課題	人件費の増加などによりごみ収集経費が増加傾向にあり、その費用負担が過大となっている。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	C:事業規模・内容・主体の見直しを検討
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>広域ごみ処理施設の稼働後のステーション収集実績やステーションの現状を踏まえ、市民のニーズに合う収集方法や回数を模索検討していく。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持				
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10402040629
------	-------------

事務事業名	衛生センター管理経費	所管	生活環境課
-------	------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-1 ごみの減量化・資源ごみ分別の徹底
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	銚子市衛生センターの維持管理を適切に行い、し尿等を安定的に処理する。
	対象	銚子市衛生センター
事業内容	銚子市衛生センター（し尿処理施設）の運転及び維持管理	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	105,598	95,875			2,400	56,574	36,901

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			生し尿搬入量	kl
		実績値	3,031	3,299
	%	達成率	90.2	92.9
浄化槽汚泥搬入量	kl	目標値	11,160	11,184
		実績値	11,493	11,183
	%	達成率	102.9	99.9
		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
円滑な運営と適切な維持管理により、生し尿及び浄化槽汚泥の処理を安定的に実施している。				

事業の課題	生し尿及び浄化槽汚泥の処理を安定的に実施するため、施設の定期的なメンテナンスが必要である。					
評価視点			総合評価			
必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当			
高い	高い	高い				
今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>生し尿及び浄化槽汚泥の処理を安定的に実施するとともに、施設の維持管理に努める。</p>			
成果の方向性	拡充					
	現状維持				○	
	縮小					
	休廃止					
			皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10402050629
------	-------------

事務事業名	最終処分場管理経費	所管	生活環境課
-------	-----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-1 ごみの減量化・資源ごみ分別の徹底
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	令和2年度末に一般廃棄物最終処分場での埋立てを終了したため、今後は、周辺環境への影響がないように浸出水の処理を継続するとともに適切な水質管理を行う。
	対象	銚子市一般廃棄物最終処分場
事業内容	一般廃棄物最終処分場の浸出水処理施設の運転及び維持管理	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	18,512	18,280	317			17,963

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			年間地下水等水質調査	回
	実績値	12		12
%	達成率	100		100
		目標値		
		実績値		
		%	達成率	
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
		目標値		
		実績値		
()	%	達成率		
()	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
浸出水の処理を継続するとともに、適切な水質管理を実施している。				

事業の検証	事業の課題	施設の廃止までは、水処理を含め、適法な維持管理が必要だが、施設の老朽化が著しく、維持管理が困難な状況である。そのため、廃止条件を満たすためにも、施設の大規模な補修が必要である。			
	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	高い	高い		
	成果の方向性	今後の方向性			
拡充		現状維持	縮小	休止	
○					
コスト投入の方向性				総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 最終処分場の事業廃止まで施設の適切な維持管理に努める。	
皆減	縮小	現状維持	拡大		

行政経営評価シート

事業ID	10402050929
------	-------------

事務事業名	一般廃棄物最終処分場最終覆土等整備経費	所管	生活環境課
-------	---------------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-1 ごみの減量化・資源ごみ分別の徹底
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	令和2年度末に埋立を終了した一般廃棄物最終処分場の表面をおおむね50cm以上の最終覆土による開口部の閉鎖及び排水設備の設置等を行い、廃棄物の飛散、流出及び悪臭の発散を防止する。
	対象	銚子市一般廃棄物最終処分場
事業内容	令和4年度から令和5年度の継続事業として、最終覆土工事等を実施する。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	17,714	7,730			7,700	30

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	処分地内の整地工事		件	目標値	1	1
				実績値	1	1
			%	達成率	100	100
				目標値		
				実績値		
			%	達成率		
				目標値		
				実績値		
			%	達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3	
()			目標値			
			実績値			
		%	達成率			
()			目標値			
			実績値			
		%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
工事の適切な実施を行うとともに、覆土には周辺の建設残土の利用による経費節減を行った。 また、早期の施設の廃止とその後の跡地利用を検討する。						

事業の検証	事業の課題	施設廃止までの適切な維持管理と跡地利用について検討を進める必要があり、敷地内の土地のあり方などについても、検討・準備が必要である。						
	評価視点				総合評価			
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当				
	高い	高い	高い					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 近隣環境に配慮し、適切に工事を進めていく。				
	成果の方向性	拡充						
現状維持							○	
縮小								
休廃止								
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10402010829
------	-------------

事務事業名	ごみ処理広域化施設整備経費	所管	生活環境課
-------	---------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-2 ごみ処理施設、最終処分場の広域化
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画)
	目的	広域ごみ処理施設を整備することで効率的なごみ処理の推進と環境保全対策を充実させ、市民の生活環境を保持する。
	対象	市民
事業内容	循環型社会形成推進交付金制度を活用し、東総地区広域市町村圏事務組合において実施する既存ごみ処理施設 (銚子市・旭市・匝瑳市) の解体撤去及び広域ごみ処理施設へ運搬するための中継施設 (旭市・匝瑳市) の整備に要する費用を負担する。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	6,315	6,315					6,315

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			組合環境担当課長会議開催数	回
	%	達成率	—	—
組合負担金制度検討会議開催数	回	目標値 実績値	— 0	— 0
	%	達成率	—	—
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
	%	達成率		
()	%	目標値 実績値		
	%	達成率		

事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載

令和4年度は主に旧銚子市清掃センター解体事業に係る負担金を支出した。
組合構成区域内の中継施設の整備については、令和11年度までの完了を目指し整備していく。

事業の課題	広域ごみ処理施設本体の整備は終了したものの、今後、旭市及び匝瑳市の中継施設の整備が行われる予定であり、再び、費用負担の増加が懸念される。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性			組合構成区域内の中継施設の整備について、令和11年度までの完了を目指し整備していく。	
皆減	縮小	現状維持		拡大

行政経営評価シート

事業ID	10402011229
------	-------------

事務事業名	広域ごみ処理施設運営経費	所管	生活環境課
-------	--------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-2 ごみ処理施設、最終処分場の広域化
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画)
	目的	ごみ処理施設、最終処分場の広域化によって効率的なごみ処理を促進し、ごみ処理費用を軽減するとともに環境保全を図る。
	対象	市民
事業内容	東総地区広域市町村圏事務組合 (構成市: 銚子市・旭市・匝瑳市) で建設した東総地区クリーンセンター及び広域最終処分場の管理運営費用を負担する。	

(単位: 千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	248,986	248,986					248,986

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
		目標値		
実績値				
達成率	%			
目標値				
実績値				
達成率	%			
目標値				
実績値				
達成率	%			
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
東総地区広域市町村圏事務組合において東総地区クリーンセンター及び広域最終処分場の管理運営を行い、スケールメリットを活かした効率的なごみ処理による処理費用の軽減及び環境保全対策を図っている。				

事業の課題	ごみの量により管理運営経費の負担割合が異なるが、従来よりは減少したものの市民一人当たりのごみ量が依然として多い。更なるごみの減量化が課題となっている。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p style="text-align: center;">総 評</p> <p style="text-align: center;">(今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性			施設整備が完了したため、今後は効率的なごみ処理の促進と環境保全対策を継続するため、施設の維持管理に努める。	
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10402030929
------	-------------

事務事業名	旧銚子市清掃センター解体経費	所管	生活環境課
-------	----------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-2 ごみ処理施設、最終処分場の広域化
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	広域ごみ処理施設（東総地区クリーンセンター）の稼働開始に伴い、稼働停止した旧銚子市清掃センターを解体する。
	対象	旧銚子市清掃センター
事業内容	令和3年度から令和5年度の継続事業として、旧銚子市清掃センターの解体を国の循環型社会形成推進交付金を活用して実施する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	246,982	221,353	67,970		135,600	6,178	11,605

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			解体工事の進捗（工事の出来高）	%	目標値 実績値
	%	達成率	100	100	
		目標値 実績値			
	%	達成率			
		目標値 実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値			
()	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
令和4年度は、破碎施設、焼却施設及び機械設備の解体を実施した。国の循環型社会形成推進交付金や交付税措置のある有利な起債を活用し、解体を実施することで費用負担の軽減と早期の環境整備を図っている。					

事業の課題	近隣環境に配慮しつつ、計画的かつ効率的な工事を進めていく必要がある。					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 国の循環型社会形成推進交付金の対象事業であるため、国・県とも連携しつつ、解体工事を進めていく。		
	成果の方向性	拡充				
現状維持			○			
縮小						
休止						
コスト投入の方向性						
	皆減	縮小	現状維持	拡大		

行政経営評価シート

事業ID	10401050129
------	-------------

事務事業名	地域環境保全活動団体支援経費	所管	生活環境課
-------	----------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-1 環境保全対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	不法投棄防止等の活動を促進し、もって生活環境の保全を図る。
	対象	森戸町・富川町地域環境保全協議会
事業内容	不法投棄防止活動を行う地縁団体で市長の認定を受けたものに対して、報償金または補助金の交付を行う。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	226	226		113			113

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			監視活動(パトロール等)	回
	%	実績値	24	24
		達成率	100	100
		目標値		
	%	実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
地縁団体の不法投棄防止活動を促進することにより、不法投棄の防止及び抑制効果が見受けられる。				

事業の課題	不法投棄の防止と抑制の一定の効果はあったものと思われるが、地域の住民による監視であり、安全面などを考慮すると事業の実施方法の見直しなども検討する必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 地縁団体活動地域の不法投棄を防止し抑制するため、引き続き事業を継続する。
	成果の方向性	拡充	現状維持	
現状維持		縮小	休廃止	
縮小		休廃止		
休廃止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10401050229
------	-------------

事務事業名	環境監視員設置経費	所管	生活環境課
-------	-----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-1 環境保全対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	産業廃棄物の不法投棄の監視・土砂等による埋立て等の監視や騒音・振動・悪臭等の苦情対象行為を早期発見し、環境保全の強化を図る。
	対象	市民、事業者
事業内容	産業廃棄物の不法投棄の監視パトロール等。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	39	38					38

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			環境パトロール	回
		実績値	225	240
	%	達成率	100	100
千葉県との合同パトロール	回	目標値	—	—
		実績値	0	0
	%	達成率	—	—
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
		目標値		
		実績値		
()	%	達成率		
()	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
定期的に行う環境パトロールにより、苦情対象行為の早期発見が可能になるとともに、不法投棄に対する抑制効果が見受けられる。				

事業の課題	今後とも、環境パトロールを定期的に行い、苦情対象行為の早期発見や不法投棄に対する抑止に努める必要がある			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 不法投棄及び野焼きの抑制や早期発見、騒音、振動、悪臭等苦情対象行為の早期対応に資するため、引き続き事業を継続する。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10401050429
------	-------------

事務事業名	環境保全対策経費	所管	生活環境課
-------	----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-2 公害防止対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	悪臭、河川水質及び自動車騒音の調査を踏まえて効果的な環境保全対策を進める。
	対象	市内の工場、商店及び住居混在地域、市内中小河川、市内主要道路
	事業内容	悪臭、河川水質及び自動車騒音調査の実施

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	2,491	2,193		335		1,858

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
悪臭調査地点	箇所	目標値	3	3
		実績値	3	3
	%	達成率	100	100
中小河川水質調査地点	箇所	目標値	8	8
		実績値	8	8
	%	達成率	100	100
自動車騒音常時監視測定	路線	目標値	3	4
		実績値	3	4
	%	達成率	100	100
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
【臭気調査】3地点で指導目標値に不適合であった。【中小河川調査】BODは、1河川1箇所環境基準に不適合であった。大腸菌数は、2河川4箇所環境基準に不適合であった。【自動車騒音調査】3路線において環境基準値に適合であった。				

事業の課題	単一の改善策では抜本的に改善できないため、長期的視点に立った改善策を講じていく必要がある。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>大気、水質等の環境保全のため引き続き事業を継続する。特に、自動車騒音の騒音測定結果については毎年環境省へ報告するため、事業の継続は必要である。なお、臭気については、不適合の原因の把握に努める。</p>
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休止				
コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10401020129
------	-------------

事務事業名	犬の登録・予防注射経費	所管	生活環境課
-------	-------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-3 公衆衛生対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	狂犬病予防のため、畜犬を登録し、狂犬病予防注射を実施した畜犬の情報を管理する。
	対象	市内の畜犬
事業内容	【畜犬の登録事務】飼養者の住所、氏名、電話番号、畜犬の名前、種類、体格等を市に登録する。【狂犬病予防注射済票交付事務】毎年、狂犬病予防注射を集合注射や動物病院等で接種した畜犬の飼養者に対し、注射済票を交付する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	448	356	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
						356	

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
狂犬病予防注射ハガキ等送付数	枚	目標値	3,391	3,468
		実績値	2,500	2,350
	%	達成率	73	67
狂犬病予防注射督促状送付数	通	目標値	—	—
		実績値	960	926
	%	達成率	—	—
畜犬登録促進指導業務数	%	目標値	—	—
		実績値	67	133
	%	達成率	—	—
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
狂犬病予防注射接種率 (犬の登録数に対する接種済頭数の割合)	%	目標値	100	100
		実績値	62	63
	%	達成率	62	63
()		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				

事業の課題	未登録・未接種畜犬の解消					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 引き続き狂犬病予防のため事業を継続する。		
	成果の方向性	拡充				
現状維持			○			
縮小						
休廃止						
			皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10401030229
------	-------------

事務事業名	犬、猫等死体収集経費	所管	生活環境課
-------	------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-3 公衆衛生対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	市民の公衆衛生の保持及び生活環境の保全を図る。
	対象	市民
事業内容	交通事故等により、道路上などに放置された飼育者不明の犬、猫等の死体を収集、処理する。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	1,870	1,870	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							1,870

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			飼育者不明の犬、猫等の収集件数	件	目標値 実績値
	%	達成率	—	—	
		目標値 実績値			
	%	達成率			
		目標値 実績値			
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()		%	目標値 実績値		
()		%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
犬、猫等の死体を収集、処分することで市民の公衆衛生の保持及び生活環境の保全が図られた。					

事業の課題	業務を委託し、飼育者不明の犬や猫などの死体の収集、処理を行っているが、現状、夜間、日曜日及び年末年始は委託先がなく、そのまま放置されがちになっている。					
事業の検証	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 市民の衛生環境・生活環境の維持のため引き続き事業の継続は必要である。		
	成果の方向性	拡充	現状維持			縮小
○						
コスト投入の方向性						
	皆減	縮小	現状維持	拡大		

行政経営評価シート

事業ID	10401040129
------	-------------

事務事業名	斎場管理経費	所管	生活環境課
-------	--------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-3 公衆衛生対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (銚子市公共施設等総合管理計画)
	目的	公衆衛生及び環境衛生の向上を図る。
	対象	斎場利用者
事業内容	斎場の適正な運営	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	45,031	44,191				14,683	29,508

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			火葬数(大人、小人、死産、四肢の合計)	件
	%	実績値	1,140	1,042
		達成率	—	—
火葬数(動物)	件	目標値	—	—
	%	実績値	468	503
		達成率	—	—
	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
()	%	目標値		
		実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
指定管理者制度を活用し斎場の健全な運営を行っていることで、公衆衛生の向上が図られている。				

事業の課題	施設の老朽化が進み、修繕の費用が課題である。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			総 評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 引き続き、指定管理者制度を活用しての斎場運営により、公衆衛生及び環境衛生の向上を図る。
	成果の方向性	拡充		
現状維持			○	
縮小				
休廃止				
	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10402010629
------	-------------

事務事業名	公衆便所管理経費	所管	生活環境課
-------	----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(2)-3 公衆衛生対策の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	市民や利用者の衛生的な利用環境の確保と公衆衛生の維持を図る。
	対象	市民、利用者
事業内容	銚子市内の公衆便所の清掃及び浄化槽の維持管理を行う。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	7,620	7,605				7,605

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
	公衆便所清掃延回数		回	目標値	8,032	8,090
			実績値	8,032	8,032	
%		達成率	100	99.3		
				目標値		
				実績値		
%		達成率				
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3	
()			目標値			
			実績値			
		%	達成率			
()			目標値			
			実績値			
		%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
市民や利用者の衛生的な利用環境の確保と公衆衛生の維持を図った。						

事業の検証	事業の課題	公衆便所を常時、清潔に保つことは困難であり、少しでも清潔なトイレの利用を求める人が多い中、公衆便所の利用は、従来ほど多くない。衛生環境と公衆衛生の維持のためにも公衆便所の在り方を検討する時期に来ている。					
	評価視点				総合評価		
	必要性		有効性		効率性		
	高い		高い		高い		
	今後の方向性				総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 市民や利用者の衛生環境・公衆衛生を維持するため引き続き事業の継続は必要である。		
	成果の方向性	拡充					
現状維持				○			
縮小							
休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大		
コスト投入の方向性							

行政経営評価シート

事業ID	10805011727
------	-------------

事務事業名	立地適正化計画策定経費	所管	都市整備室
-------	-------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(3)-1都市の賑わいと活力を創出する都市づくりの推進
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他 (銚子市都市計画マスタープラン等)
	目的	今後の人口減少によって生じる都市の様々な課題に対処し、持続可能な都市の実現を目指す。
	対象	市民
事業内容	立地適正化計画を策定し、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通などの様々な都市機能の誘導により、コンパクトシティや多極ネットワーク型まちづくりの取組を推進する。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	9,729	9,517	5,500			4,017

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			立地適正化計画の策定に関する会議	回
	%	達成率	66.7	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
		達成率		
()	%	目標値 実績値		
		達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
令和4年度は、本市が抱える課題の分析や誘導施設・誘導区域などの検討を行った。引き続き、持続可能な都市の実現を目指し、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通などの様々な都市機能をはじめ災害なども考慮しながら計画を策定する。				

事業の課題	計画策定にあたり、防災指針、公共交通計画との連携が求められる。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>立地適正化計画策定後は、更なる人口減少、少子高齢化の進行により、人口が低密度化し、住民の生活を支える医療・福祉・商業、公共交通などのサービスの提供や地域活力の維持が困難になる可能性があるため、定期的な計画の見直しなども含めた取組が必要となる。</p>
	成果の方向性	拡充	現状維持	
	縮小			
	休廃止			
	皆減	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10805011827
------	-------------

事務事業名	宅地耐震化推進事業経費	所管	都市整備室
-------	-------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(3)-1都市の賑わいと活力を創出する都市づくりの推進
	関連計画	— : 総合戦略 — : その他 (—)
	目的	大規模土地造成地の変動予測調査やマップなどによる公表を行い、住民の宅地被害に対する関心を高めるとともに、事前対策を促し被害の防止・軽減につなげる。
	対象	市民
	事業内容	大規模盛土造成地を把握し、公表したマップに基づき事業を計画的に進めるための第二次スクリーニング計画を作成する。

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	4,730	2,838	1,419			1,419

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	第二次スクリーニング計画の作成		件	目標値	1	—
				実績値	1	—
			%	達成率	100	—
				目標値		
				実績値		
			%	達成率		
	事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	()			目標値		
				実績値		
		%	達成率			
()			目標値			
			実績値			
		%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
令和4年度に作成した第二次スクリーニング計画の優先度評価結果に基づき実施することとなる第二次スクリーニング調査の実施時期・手法などについて、法改正やガイドラインの見直しに係る情報収集を行うとともに、国及び他自治体の動向などを注視し、判断していく。						

事業の検証	事業の課題	宅地造成等規制法が改正（「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称：盛土規制法））されるなど、宅地耐震化事業を取り巻く環境も大きく変化しつつあり、第二次スクリーニングや対策工の実施工法等についても大きく影響を受ける可能性がある。そのため、国及び他自治体の動向などを注視し、第二次スクリーニングの実施時期や手法などについて、情報を収集し、判断していく必要がある。						
	評価視点				総合評価			
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当				
	高い	高い	高い					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 第二次スクリーニングの実施時期について検討を進める。				
	成果の方向性	拡充						
現状維持							○	
縮小								
休廃止								
			皆減	縮小	現状維持	拡大		
			コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10805020127
------	-------------

事務事業名	街路管理経費	所管	都市整備室
-------	--------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(3)-2 公園整備と緑化の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	街路の安全管理と景観保全を行い、潤いのある自然環境をつくる。
	対象	街路及び街路樹
事業内容	街路及び街路樹の維持管理	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	4,358	4,189				638	3,551

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	市内街路樹剪定業務		回	目標値	1
			実績値	1	1
		%	達成率	100	100
豊里台街路樹剪定業務		回	目標値	1	1
			実績値	1	1
		%	達成率	100	100
		%	達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()			目標値		
			実績値		
	%	達成率			
()			目標値		
			実績値		
	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
街路を定期的に剪定することで、安全管理と景観保全を図っており、潤いのある自然環境が保持している。					

事業の検証	事業の課題	一定の維持管理は行っているものの、樹木の成長などに併せた街路樹の選定など、費用面の問題もあり街路の管理が十分になされているとまでは言えない。経費の節減を図りながら街路の適切な管理が図られるよう維持管理の方法などを検討していかなければならない。																						
	評価視点			総合評価																				
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																				
	高い	高い	高い																					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)																				
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>◇</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>◇</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>◇</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>◇</td> </tr> </table>	拡充	△				□	○	◇	現状維持	△	□	○	◇	縮小	△	□	○	◇	休廃止	△	□	○	◇
拡充	△	□	○	◇																				
現状維持	△	□	○	◇																				
縮小	△	□	○	◇																				
休廃止	△	□	○	◇																				
	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大																			
皆減	縮小	現状維持	拡大																					

行政経営評価シート

事業ID	10805030627
------	-------------

事務事業名	君ヶ浜しおさい公園管理経費	所管	都市整備室
-------	---------------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(3)-2 公園整備と緑化の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	君ヶ浜しおさい公園を適正に維持管理し、環境安全を図る。
	対象	君ヶ浜しおさい公園
事業内容	君ヶ浜しおさい公園の維持管理	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	5,261	4,976				258	4,718

事業の実績と成果	活動指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
	君ヶ浜しおさい公園松薬剤散布		回	目標値	2	2
				実績値	2	2
			%	達成率	100	100
				目標値		
			%	実績値		
				達成率		
				目標値		
			%	実績値		
				達成率		
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3	
()			目標値			
		%	実績値			
			達成率			
()			目標値			
		%	実績値			
			達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載						
薬剤散布することで、公園内の松枯れを最小限に抑えている。						

事業の検証	事業の課題	薬剤散布などの効果で松枯れに収束の兆しは見えるものの、公園内の樹木の立ち枯れや遊歩道の老朽化に対する対処は十分になされているとは言えない。費用対効果も考えながら計画的な整備と維持管理が必要になってくる。																						
	評価視点				総合評価																			
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																				
	高い	高い	高い																					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)																				
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	拡充	○				現状維持		○			縮小			○		休廃止				○	公園内の松枯れを最小限に抑えるために薬剤散布を行い、公園の安全管理と景観保全を図ることに努める。また、公園内施設の修繕等を行い、公園を適正に維持管理する。	
拡充	○																							
現状維持		○																						
縮小			○																					
休廃止				○																				
		コスト投入の方向性																						
		皆減	縮小	現状維持	拡大																			

行政経営評価シート

事業ID	10805030827
------	-------------

事務事業名	都市公園等関係経費	所管	都市整備室
-------	-----------	----	-------

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(3)-2 公園整備と緑化の推進
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他 (—)
	目的	市内公園35箇所等の遊具、トイレ、照明設備等を適正に維持管理し、環境保全を図る。
	対象	市内公園35箇所等の遊具、トイレ、照明設備等
事業内容	市内公園35箇所等の遊具、トイレ、照明設備等の維持管理を行う。	

(単位:千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	27,284	26,704				3,523	23,181

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	桜井町公園除草業務		回	目標値	4
			実績値	4	4
		%	達成率	100	100
中央みどり公園及び駅前広場管理業務		回	目標値	4	4
			実績値	4	4
		%	達成率	100	100
豊里台緑が丘公園除草業務		回	目標値	4	4
			実績値	4	4
		%	達成率	100	100
事業の実績と成果	事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	()	%	目標値 実績値 達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
定期的に除草や遊具の点検を行うことで公園の維持管理、環境保全を図っている。					

事業の検証	事業の課題	一定の維持管理、環境保全は図られているものの、遊具などの徐々に老朽化しており、更なる整備が必要になってきており、今後、財源の確保などが課題となる。																						
	評価視点			総合評価																				
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																				
	高い	高い	高い																					
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)																				
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	拡充	○							現状維持		○			縮小			○		休廃止				○
拡充	○																							
現状維持		○																						
縮小			○																					
休廃止				○																				
	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																		
皆減	縮小	現状維持	拡大																					

行政経営評価シート

事業ID	10802020128
------	-------------

事務事業名	道路橋りょう維持管理経費	所管	土木室
-------	--------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他（ — ）
	目的	道路の適切な維持管理に努め、市民・道路利用者の安全・安心を確保する。
	対象	市民・道路利用者
事業内容	市道及び法定外公共物（赤道）の維持管理	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	43,792	40,132				2,266	37,866

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			道路補修要望に伴う補修等作業実施件数	件
	%	達成率	—	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
		目標値 実績値 達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値 達成率		
()	%	目標値 実績値 達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
市民等からの補修要望等に基づき、市道や法定外公共物（赤道）を適切に維持管理するための補修や整備を実施した。				

事業の課題	道路維持管理の要望件数が増加し、市直営での補修作業に遅れが生じることがある。補修作業前に事故などが起きることが懸念されるため、今後、道路補修の業務委託の必要性を検討する必要がある。				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	高い	高い		
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>計画的な道路工事を行うことで、老朽化による道路舗装や側溝の破損に係る補修作業の減少が見込まれるため、道路整備予算や設計業務等のための技術職員を確保する必要がある。道路維持管理の要望件数が年間1,000件を超えているため、要望を受けてから補修整備が完了するまでの業務の見直しを行い、作業効率の向上を目指す。</p>	
	成果の方向性	拡充	現状維持		縮小
	皆減	縮小	現状維持		拡大
コスト投入の方向性					

行政経営評価シート

事業ID	10802030128
------	-------------

事務事業名	市道改良整備経費	所管	土木室
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他（ — ）
	目的	安全・安心で快適な道路環境の提供
	対象	市民・道路利用者
事業内容	市民からの整備要望などに基づき、道路改良や側溝改良などの整備を計画的に実施し、道路環境の改善を進める。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	102,441	100,676			71,600	29,076

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			市道改良工事	件
	%	達成率	100	—
補修等緊急対応工事	件	目標値 実績値	— 62	— 32
	%	達成率	—	—
	%	目標値 実績値 達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値 達成率		
()	%	目標値 実績値 達成率		

事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載

目標値として計画した市道（1006号線・1018号線・40179号線・70001号線・70085号線）の道路改良、側溝改良工事及び松岸町4丁目に設置された側溝の排水整備工事を行った。また、市民等からの要望により、側溝補修や舗装補修等を実施し、道路を安全に利用するための整備を行った。

事業の課題	令和元年度からの緊急財政対策により道路整備予算を縮小していたため、緊急対応工事の費用が増加している。そのため、緊急対応工事の予算に不足が生じた場合、市道改良分の経費から補填しており、計画的に市道改良の整備が進められていない。また、市道改良の整備が遅れることで、更なる補修要望の増加も懸念される。			
事業の検証	評価視点			総合評価
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当
	高い	高い	高い	
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>市道の舗装や排水整備を市民からの要望に基づき、計画的に行う。また、市民等から補修要望を受け、市直営での対応が困難な場合には、緊急対応工事を実施していく。市民の安心・安全を確保するために必要な予算の確保や土木技師の人員確保を図る。</p>
	成果の方向性	拡充	現状維持	
	縮小	休廃止		
	皆減	縮小	現状維持	
	コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10802030228
------	-------------

事務事業名	交通安全施設整備経費	所管	土木室
-------	------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他（ — ）
	目的	安全・安心で快適な道路環境の提供
	対象	市民・道路利用者
事業内容	交通事故多発当箇所や住民要望に基づき、道路反射鏡、防護柵、道路照明灯、区画線などの交通安全施設を計画的に整備し、車両や歩行者の安全・安心を確保する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	12,512	11,984			3,600	8,384

事業の実績と成果	活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
	交通安全施設整備工事		件	目標値	—
			実績値	5	5
%		達成率	—	—	
		件	目標値		
			実績値		
%		達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
人口1万人当たり交通事故発生件数 (市内における人口1万人当たりの交通事故の発生件数)		件	目標値	—	—
			実績値	17.7	21.5
	%	達成率	—	—	
()		件	目標値		
			実績値		
%	達成率				
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
道路反射鏡や防護柵の設置等、交通安全施設の整備を行った。					

事業の検証	事業の課題	事業の財源としている交通安全対策特別交付金の額が年々減少傾向にあるが、市民の安全・安心を守るためには必要な事業であり、財源の確保を図りながら、より費用効果の高い整備を行っていく必要がある。				
	評価視点				総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	コスト投入の方向性
	皆減	縮小	現状維持	拡大	交通安全対策特別交付金を活用し、老朽化等により破損した道路反射鏡や防護柵の付替えを実施している。また、交付金の交付額が減少する中、令和4年度は事業費を増加し、区画線の敷き直しや、令和3年度に引き続き通学路の合同点検の結果に基づき路面標示の設置を行った。交通事故の減少には施設整備の推進が必須であるため、今後も必要な予算の確保を行い、合同点検の結果や市民からの要望を踏まえた、安全・安心な道路環境の整備を行っていく。	

行政経営評価シート

事業ID	10802031228
------	-------------

事務事業名	橋りょう長寿命化対策経費（道路メンテナンス事業）	所管	土木室
-------	--------------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他（ 橋梁長寿命化修繕計画 ）
	目的	橋りょう利用者に安全・安心で快適な道路環境を提供するとともに、「傷みが大きくなってから直す」という管理方法から「傷みが軽微な段階で直す」という管理方法に転換することにより、修繕実施時の費用負担を軽減し、さらには大規模修繕や架け替え工事の集中を抑制することで費用負担の平準化を図る。
	対象	市民・橋りょう利用者
事業内容	市が管理する115箇所の橋りょうについて、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な橋梁の点検及び修繕を実施することにより、市民・橋りょう利用者の安全・安心を確保するとともに、橋りょうの長寿命化を図る。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	18,280	16,579	7,007			9,572

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			定期点検実施橋りょう数	箇所	目標値 実績値
	%	達成率	—	—	
橋りょう補修工事	件	目標値 実績値	— 0	— 0	
		%	達成率	—	
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値			
		達成率			
()	%	目標値 実績値			
		達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの定期点検を実施した。					

事業の検証	事業の課題	令和7年度から令和10年度の間にJR総武本線のご線道路橋（30358-1号橋）の撤去工事及びJR銚子駅ご線人道橋（銚子駅ご線人道橋）の修繕工事を予定しており、多額の費用がかかる。				
	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)		
成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	橋りょう点検を実施し、その結果を踏まえて策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、損傷が進行した橋りょうから順次、長寿命化のための修繕を実施する。JR総武本線のご線道路橋及びJR銚子駅ご線人道橋は、平成29年に実施した定期点検の結果、健全度Ⅲ（早期措置段階）と診断され、損傷が大きく5年以内に対策を要するものとされている。そのため、JR総武本線のご線道路橋は令和7年度に撤去工事、JR銚子駅ご線人道橋は令和8年度から令和10年度の期間に修繕工事を予定している。	
コスト投入の方向性			皆減	縮小	現状維持	拡大

行政経営評価シート

事業ID	10802031528
------	-------------

事務事業名	市道舗装修繕経費	所管	土木室
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他（ 道路舗装維持修繕計画 ）
	目的	安全・安心で快適な道路環境を提供するとともに、「傷みが大きくなってから直す」という管理方法から「傷みが軽微な段階で直す」という管理方法に転換することにより、修繕実施時の費用負担を軽減し、さらには大規模な舗装改良工事の集中を抑制することで費用負担の平準化を図る。
	対象	市民・道路利用者
事業内容	道路舗装の損傷が著しい市道について、「道路舗装維持修繕計画」に基づき、計画的な道路舗装の修繕を実施することにより、市民・道路利用者の安全・安心を確保するとともに、舗装の長寿命化を図る。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	68,000	65,691			60,600	5,091

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			道路舗装修繕工事実施路線数	路線
	%	達成率	—	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値 達成率		
()	%	目標値 実績値 達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
道路舗装維持修繕計画に基づき、市内の幹線道路・生活道路である市道（1002号線・50001号線・50129号線・50253号線・70033号線）の補修を実施し、道路を安全に利用するための整備を行った。				

事業の検証	事業の課題	市民要望が高く、安全な道路通行を確保するために必要な事業であるため、道路の損傷に早急に対応できる財源や土木技師の確保を図る必要がある。																				
	評価視点			総合評価																		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																		
	高い	高い	高い																			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)																		
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>△</td> <td>□</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </table>	拡充	△			□	○	△	現状維持	△	□	○	△	縮小	△	□	○	△	休廃止	△	□	○
拡充	△	□	○	△																		
現状維持	△	□	○	△																		
縮小	△	□	○	△																		
休廃止	△	□	○	△																		
コスト投入の方向性			<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大															
皆減	縮小	現状維持	拡大																			

行政経営評価シート

事業ID	10802031828
------	-------------

事務事業名	道路附属物修繕経費	所管	土木室
-------	-----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		○ : その他（道路附属物維持修繕計画）
	目的	安全・安心で快適な道路環境の提供をするとともに、道路照明灯及び大型標識の修繕、更新を計画的に実施し、施設の倒壊や部材の落下等を未然に防止することにより、市民等道路利用者の安全・安心を確保する。
	対象	市民・道路利用者
事業内容	市が管理する道路照明灯及び大型標識について、「道路附属物維持修繕計画」に基づき、計画的な修繕と更新を実施し、施設の倒壊や部材の落下等の事故を未然に防止することにより、市民等道路利用者の安全・安心を確保する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	市債	その他
	14,793	13,872			3,800	10,072

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
			道路附属物整備件数	件
	%	達成率	—	—
		目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値		
	%	達成率		
()	%	目標値 実績値		
	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
令和4年度は、市内にある道路照明灯、大型標識及び分電盤の点検を実施し、その結果を踏まえ「道路附属物維持修繕計画」の改定を行った。また、道路照明灯（2基）を更新し、道路を安全に利用するための整備を行った。				

事業の課題	「道路附属物維持修繕計画」では、定期点検で健全と診断された道路附属物は修繕等を行わないこととしている。しかし、健全と診断されたものの中には、施設としての寿命を過ぎたものが多く存在しており、老朽化の加速などにより緊急的に修繕等を行う事態が想定される。令和6年度にマイロード、令和7年度にシンボルロードの道路照明灯を一斉更新するため、多額の費用がかかる。				
事業の検証	評価視点			総合評価	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当	
	高い	高い	高い		
	今後の方向性			<p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>道路照明施設等の点検を行い改定した「道路附属物維持修繕計画」に基づき、老朽化の著しい道路附属物の修繕と更新を計画的に行う。また、附属物の寿命にあわせて修繕や更新を予定した場合、年度によって事業費に差が生じるため、事業費の均等化を図り、突発的な財政負担を発生させないよう計画していく。</p>	
	成果の方向性	拡充	現状維持		縮小
	○				
	削減	縮小	現状維持		拡大
	コスト投入の方向性				

行政経営評価シート

事業ID	10803010128
------	-------------

事務事業名	河川整備経費	所管	土木室
-------	--------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他（ — ）
	目的	市が管理する河川の護岸新設や老朽化した護岸の改修などの工事を計画的に整備し、護岸の損壊を防止する。また、計画的な浚渫工事を実施することにより、河川流量を確保し、豪雨時の氾濫を防止する。
	対象	市民・河川及び水路利用者
事業内容	市が管理する河川の護岸整備と浚渫工事を計画的に実施し、豪雨時における河川の氾濫を防止する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	115,066	51,767	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
					44,400		7,367

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			護岸改修工事実施河川数	河川	目標値 実績値
	%	達成率	300	—	
河川浚渫工事実施河川数	河川	目標値 実績値	8 8	— 9	
	%	達成率	100	—	
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()			目標値 実績値		
	%	達成率			
()			目標値 実績値		
	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
災害時における河川の氾濫に備え、滑川、西部川及び八幡川の老朽化した護岸の改修工事や道面川、川端川、清水川、高田川、八幡川、滑川、森戸川、及び佐原川の土砂を取り除く浚渫工事を実施した。					

事業の検証	事業の課題	普通河川滑川に架かる港橋（シャトレーゼ前）から中の橋（公正図書館南側）までの区間にある護岸は、耐久性の低い石積みの護岸であり、老朽化も進んでいることから崩落を防ぐための改良工事が必要である。また、護岸工事を行うためには、付近の用地買収が必要となるため、実施には多額の費用が見込まれる。令和2年度から交付税措置の手厚い緊急浚渫推進事業債を活用し、浚渫工事を実施しているが、起債の事業期間は令和6年度までとなっており、事業期間延長等の措置がなかった場合、財源の確保が必要となる。				
	評価視点			総合評価		
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当		
	高い	高い	高い			
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など) 老朽化した護岸の補修や改良を計画的に行うとともに、令和2年度から制度化された緊急浚渫推進事業債を活用し、氾濫防止のための浚渫工事を実施していく。		
成果の方向性	拡充					
	現状維持		○			
	縮小					
	休廃止					
			皆減	縮小	現状維持	拡大
			コスト投入の方向性			

行政経営評価シート

事業ID	10803010328
------	-------------

事務事業名	河川維持管理経費	所管	土木室
-------	----------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1 市道（生活道路）などの整備
	関連計画	— : 総合戦略
		— : その他（ — ）
	目的	河川及び付帯施設の適切な維持管理に努め、市民の安全・安心を確保する。
	対象	市民・河川及び水路利用者
事業内容	利根川の堤防治いに設置された樋管等の維持管理及び点検を実施し、災害時における利根川からの逆流による氾濫を防止する。	

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	6,419	6,406	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							6,406

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3
整備点検実施樋管数	樋管	目標値	—	—
		実績値	4	2
	%	達成率	—	—
		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
事業成果指標項目		目標値		
		実績値		
	%	達成率		
()	%	達成率		
()	%	達成率		
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載				
令和4年度に忍樋管、野尻樋管、西部樋管が国から引き渡され、元々管理していた塚本樋管（遠隔監視システム等は未整備）と合わせ、市が管理する樋管は4樋管となった。これらの樋管の機械本体や遠隔監視システム、非常用発電機などの整備点検を実施し、災害時において適切に機能するよう対策が必要と判断されたものについては、非常用発電機の設置場所の改修や燃料交換などの対応を行った。				

事業の検証	事業の課題	現在、国において利根川の堤防整備と一体的に樋管の整備が進められ、設置後は市が管理を行うこととなるため、樋管の維持管理費用が今後、著しく増加する。塚本樋管は国の整備計画区間外であったため、市において遠隔監視システム等の整備を実施する必要があるが、整備には多額の費用がかかる。今後、河川及び樋管に関する業務の増大が見込まれるため、治水対策業務に充分対応できる専門部署を新たに設置する必要がある。																			
	評価視点			総合評価																	
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当																	
	高い	高い	高い																		
	今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)</p> <p>災害時、利根川の氾濫から市民の安全を確保するため、事業者による整備点検及び土木室における定期的なパトロールや樋管ゲートの開閉点検などを実施していく。</p>				成果の方向性	拡充				現状維持		○		縮小				休廃止		
成果の方向性	拡充																				
	現状維持		○																		
	縮小																				
	休廃止																				
コスト投入の方向性		<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>			皆減	縮小	現状維持	拡大													
皆減	縮小	現状維持	拡大																		

行政経営評価シート

事業ID	10201086102
------	-------------

事務事業名	地域おこし協力隊事業経費（銚子電鉄）	所管	企画室
-------	--------------------	----	-----

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(5)-3 銚子電鉄運行維持に向けた支援
	関連計画	○：総合戦略 —：その他（ — ）
	目的	本市への新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事しながら、任期終了後も本市へ定住することを目指す。
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件対象となる都市部の人材
	事業内容	銚子電鉄と市の活性化を図る地域おこし協力隊を委嘱する。経費の全額が地方交付税（特別交付税）で措置される。

(単位：千円)

事業費	予算現額	決算額	財源内訳				
	4,800	4,213	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
							4,213

活動指標項目	単位	目標/実績	R4	R3	
			地域おこし協力隊員数（銚子電鉄）	回	目標値 実績値
	%	達成率	100	—	
海と鉄道プロジェクトに関するイベントの開催	回	目標値 実績値	1 1	— —	
	%	達成率	100	—	
	%	達成率			
事業成果指標項目		単位	目標/実績	R4	R3
()	%	目標値 実績値			
()	%	達成率			
事業成果の説明 ※上記の指標による数値で表せない場合は、説明を記載					
<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道運転業務について、運転士が欠けた際に運転士の資格を持つ隊員が代行することにより、運行維持が図られた。 ・鉄道関連のコミュニティを活かしたイベントを開催し、鉄道利用の促進が図られた。 ・食品事業については、当該隊員を起点に販路を拡大し、過去最高の売上額に寄与した。 					

事業の課題	現在委嘱している隊員は、特に鉄道事業については専門性が高く、期限満了後、当該隊員と企業との係わりが希薄になった場合、企業の収益に影響する可能性がある。																		
事業の検証	評価視点			総合評価															
	必要性	有効性	効率性	A:計画どおりに事業を進めることが適当															
	高い	高い	高い																
	今後の方向性			総評 (今後の事業の進め方や課題に対する改善策など)															
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	○			現状維持				縮小				休廃止				当該隊員が着任したことで、銚子電鉄がより活性化されており、令和4年度は鉄道事業は赤字であったものの、全体事業は約1,200万円黒字化された。鉄道利用者の誘致と食品販売の販路拡大が大きく影響しているため、引き続き、銚子電鉄の活性化のために必要な事業である。
拡充	○																		
現状維持																			
縮小																			
休廃止																			
コスト投入の方向性	<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>現状維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	皆減	縮小	現状維持	拡大														
皆減	縮小	現状維持	拡大																